



第4号様式 (第12条)

函館市IT・ロボット等活用生産性向上補助金等実績報告書

令和7年(2025年)2月3日

函館市長様

住所 北海道函館市西桔梗町589番地39
申請者 氏名または団体名 昭和製菓株式会社
および代表者氏名 代表取締役 田口 輝

令和6年(2024年)6月24日付け函経工をもって補助金等の交付決定を受けた下記の補助対象事業は、令和7年(2025年)1月20日に完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

1 補助対象事業の名称 高効率・少人化が可能な最新式バームクーヘン焼成機を導入した新商品ラインの導入

2 補助金等交付決定通知額 金 10,000,000円

3 補助金振込先(申請者の口座)

銀行名	支店名	口座の種類	口座番号
██████████	██████████	██████████	██████████
口座名義	(カナ) ██████████		
	██████████		

4 実績書 別紙のとおり

実績書

補助対象事業の名称	高効率・少人化が可能な最新式バウムクーヘン焼成機を導入した新商品ラインの導入
実施内容	<p>「バウムクーヘン」は当社の製造ラインでは製造する事が出来ない為、バウムクーヘン専用の周辺機器をそろえる必要がある。</p> <p>最新式バウムクーヘン焼成機である「BEST フレイヤ」は従来機の「最大2倍速」で上質なバウムクーヘンが生産可能で、焼いた後の麵棒の着脱以外は手離れできる</p> <p>「無人焼成システム」がかけ合わせられている事で、<u>従来オープンでは作業員が3名ほど必要とされていたが1名の作業員で従来機の2倍量の生産が可能。</u></p> <p>又、「BEST フレイヤ」は従来機では叶わなかった手作業での温度調整、熟練の感覚が必要だった手作業部分の機械化により、作業上の安全面、作業員による品質のムラが解消される。</p> <p>新商品の開発スケジュールとしては、機器搬入前からメーカーと試作を重ねて<u>北海道産チーズを使用したソフトバウムと函館牛乳を使用したハードバウムの2品</u>を開発予定。オープン設置後は再現試作を繰り返すのと同時に更なる新商品の開発を進め、来年度の新商品として各種展示会に出品・提案していき、2025年4月から発売可能なように進めていく。</p>
期待される効果	<p>現段階でのバウムクーヘンの見込み需要と販売計画は以下の通り。</p> <p>製造原価（個）＝¥350 販売価格（個）＝¥900 1日出来高　＝1,500ホール 【月間見込受注量】※見込み 月間　＝3,000個（ホール） 月間売上　＝¥2,700,000</p>

	<p>当社で販売価格 900 円の商品は冷凍商品の函館スフレという商品で、当社全体売り上げの上位商品であるため初年度は 1/3 程度の出荷数を想定している。当社の常温商品の価格設定は 700 円台が多く 900 円の商品は無いがバウムクーヘンの販売市場を見ると 1 個 1,000 円以上の商品が多く、900 円の価格設定はお客様から選ばれやすいが 900 円の価格設定も決して低い訳ではなく粗利益率は 61% であり高い利益率を実現できる。</p> <p>品質に関しては当社が拘っている「北海道産の安心・安全な良質の原料を使用した商品」を提供する事であるので、これまで培ってきた信頼を裏切ることなくこれまでのノウハウを活かした商品を提供する。</p> <p>尚、当社が開発するバウムクーヘンは北海道産原料に拘るのはもちろんの事、<u>函館産の原料も積極的に取り入れた商品</u>とし、当社が今回の投資を行うことにより地域の同業他社のモデルケースとなることを目指す。</p>
<p>今後の展開について</p>	<p>当初計画していた 2025 年 4 月発売に向けて始動したが商品としての完成度を高めるべく現在も開発中の為、日持ち検査や商品 PR の時間等を考慮すると 9 月以降の発売を見込んでいる。</p> <p>試作段階ではあるが当社得意先にはサンプル品などを提出しており、反応としては上々で期待・要望の声をかけていただいている。</p> <p>生産体制については計画通り運用出来ており問題無く量産体制に入れる。</p> <p>今後については試作を重ね、味と日持ちを兼ね備えた販売店が扱いやすい商品開発を進めていき、当社の新たな柱の商品になれるよう進めていく。</p>

(注) 1 実績書の内容について、詳細に記載すること。(別紙も可)

【添付書類】

- ① 収支決算書 (第 5 号様式)
- ② 補助対象経費に係る支出を確認することのできる書類の写し
(例: 銀行振込受領書, 領収書等)
- ③ 機械装置等を導入または改造もしくは改良した場合は, 当該機械装置等の納品が確認できる書類 (例: 納品書, 契約書等) およびその機械装置等の写真や概要がわかる資料等

収支決算書

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助対象経費		うち補助対象経費		うち補助対象経費	
自己資金	10,867,000	10,867,000	10,867,000	10,867,000	0	0	
函館市補助金	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	0	
合計	20,867,000	20,867,000	20,867,000	20,867,000	0	0	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助対象経費		うち補助対象経費		うち補助対象経費	
BESTフライヤー	15,060,000	15,060,000	15,060,000	15,060,000	0	0	
付属品	5,807,000	5,807,000	5,807,000	5,807,000	0	0	生地供給ポンプ、スライサー、麺棒、麺棒ラック、変形防止機、等分器。
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
合計	20,867,000	20,867,000	20,867,000	20,867,000	0	0	

収支差引額 0 / 円

(注) 1 金額については、すべて消費税および地方消費税相当額を除いた額で記載すること。